

議を、8月末までには完了させたいと思っております。

その後、早急に工事を発注しまして、一刻も早く供用開始を目指したいと思っております。

Q 和田一東町線、新町一殿台線、殿台一町線、この3つの路線は関連性が強く、3つとも供用開始となれば、その効果は最大限に発揮されると思う。

この3路線の関連性について、どのように考えているのか。

A 都市建設部長 3路線とも重要だと認識しています。

この3路線が供用開始になれば、混雑の緩和、利便性の向上が特段に上がってくるかと考えています。1日も早い供用開始を目指したいと思っております。



個人質問



川原 春夫 議員

●教育委員会改革に関する教育長の見解について

Q 3月22日に市長との教育懇談会席上、「教育委員会制度の見直し」について、意見交換がなされたとのことだが、教育長としてのこの件に関する考えはどうか。

A 教育長 教育委員が独自に持ち寄ったテーマの一つですが、教育改革に意欲を示す安倍内閣が誕生して一気に教育委員会制度の見直しに動いているように見えます。大きな変更が起こるのではないかなと考えております。教育の政治的中立性も揺るがしかねない問題でもあり、市長懇談会において、この件を議題にしました。大津の事件が契機かと思われませんが、安倍政権において

大きな動きが出てきています。実際、教育委員会制度は、責任の所在の曖昧性、会議のあり方、所掌事務の問題、教育長選任の方法、閉鎖性、市長との関係、予算、人事権等々、課題は依然としてあって、今後、改善を図らなければならぬと思っておりますが、今のままでも、条文どおりにしっかり履行されれば、基本的にはそんなに悪くない制度だと思っております。就任以来、葛藤の連続で、今日に至っていません。その上で、世間の批判は、至極最もだと思っております。正直、機能していない教育委員会も多々あると思います。

教育委員会が機能しているか、していないかというところが一番大事だと思っております。機能するということは、子供たちのために、現場の指導・支援がしっかりできるかどうかということだと思います。

●「道徳教育」の「教科化」に関する教育長の見解について

Q 道徳教育を教科化することで、実際にいじめ等が減少すると考えているのか。

A 教育長 個人的には、内容次第と思っております。教師の指導力と相まって、内容をどこまで子供たちが身につけることができるかが、教科化する、しないにかかわらず、ポイントになるかと思えます。加えて、本来は、家庭、地域、社会における中で育まれるべきものだと考えております。

●情報化教育環境の整備について

Q 社会全体が、高度な情報化時代に向かっている。教育現場においても、例外ではない。それどころか、学力の国際比較においても、情報教育先進国、北欧諸国や韓国、シンガポールなどに比べても、格差が開いてきている現状である。

A 教育部長 電子黒板を平成22年2月に、市内19校、全ての小中学校に1千177万500円の予算を掛けて1台ずつ整備しましたが、継続的な研究や研修が、導入計画にきちんと位置づけられていなかったために、有効な利用の仕方がわからず、結果として、利用率が高まらないという状況にあります。

ICT(情報化)教育環境の整備について、各小中学校に配置された電子黒板の活用状況も含めた今後のICT活用の対策・方針はどうか。

A 教育部長 ICT機器の導入については、最先端のICT機器の導入を目指したいと思えます。また、それと同時に、教職員スキル向上を図るICT支援員の派遣を、先駆的に、かつ大胆に導入して、ICT機器を活用した最先端の教育に積極的に取り組んでまいりたいと考えております。

●山武市総合計画「後期基本計画」について

Q 公共交通網に対する満足度について、現状値39.7%、後期めざそう値50%、と大幅にアップしているが、その対策はどうか。

A 総務部長 基幹バス、乗合タクシーの定着が一層図られるように継続的な周知・広報活動を実施し、認知度を高めること、愛称の募集もその一環です。また、JR成東駅の駅ホームにエレベーターを設置するバリアフリー化の工事が完了したことによる駅の利便性が向上することによって、満足度の向上も図られる

しては、最先端のICT機器の導入を目指したいと思えます。また、それと同時に、教職員スキル向上を図るICT支援員の派遣を、先駆的に、かつ大胆に導入して、ICT機器を活用した最先端の教育に積極的に取り組んでまいりたいと考えております。

●山武市総合計画「後期基本計画」について

Q 公共交通網に対する満足度について、現状値39.7%、後期めざそう値50%、と大幅にアップしているが、その対策はどうか。

A 総務部長 基幹バス、乗合タクシーの定着が一層図られるように継続的な周知・広報活動を実施し、認知度を高めること、愛称の募集もその一環です。また、JR成東駅の駅ホームにエレベーターを設置するバリアフリー化の工事が完了したことによる駅の利便性が向上することによって、満足度の向上も図られる